


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【茨城県】

| | |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ | 【I・V】 |
| 2 実施対象者 | 石岡市立林小学校 1～6年生 146名 保護者20名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 1 教科名 () ② 行事名(オリンピック陸上教室) 3 その他 () (2) 地域における活動 1 イベント名 () 2 その他 () |
| 4 目標 (ねらい) | オリンピックメダリストの講話や実技指導を通して、オリンピック教育を推進し、児童が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 |
| 5 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピックの意義や歴史についての学習 全学年で2時間実施 ・オリンピック（メダリスト）の講演会の開催 全児童と教職員、保護者参加 ・講演会の感想文等の作成 ・講演会に関する学校通信の発行、ホームページへの掲載 ・オリンピック、パラリンピック関連図書購入と活用 <p>・12月12日 北京オリンピック4×100mリレー銅メダリスト 高平慎士 選手（富士通）の講話と実技指導</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |

| | |
|----------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> • 全児童146名、教職員11名、保護者20名、市教委1名が参加。 • 短距離の走法、オリンピック精神などについての話があり、特に「東京オリンピック・パラリンピックには、見る、応援するなど、どんな形でもいいので参加してほしい」との講話内容であった。 • 続いて運動場にて実技指導を実施。5、6年生にだめな走り方の手本を見せ、正しい走り方を考えさせたり、一緒に走って「世界の速さ」を体感させた。 • 茨城新聞記事掲載（30年1月6日付け）  |
| 6 主な成果 | <ul style="list-style-type: none"> • 児童のオリンピックへの理解と関心が大きく高まった。 • 豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育むきっかけとすることができた。 • 児童の感想 <ul style="list-style-type: none"> • 私はオリンピックは争うことだと思っていました。でも他の国々と仲良くすることだと知って驚きました。 • 私もひとつの目標に向かって努力して、つらいことがあっても逃げない自分になりたいです。 • オリンピックのメダリストに会う機会はないと思うのでとてもよい経験になりました。 • 高平選手は努力をたくさんしたから結果を残せたのだと思います。僕も今日の経験を生かしてがんばっていきたいです。 • 高平選手に会えてとてもうれしかったです。 • すごくいい経験になりました。東京オリンピックは会場に見に行きたいです。 |
| 7 実践において工夫した点（事業の特色） | <ul style="list-style-type: none"> • 講話だけでなく、実技指導を実施していただいた。児童がメダリストと一緒に走ったことにより、「世界の速さ」を体感し、オリンピックへの興味・関心を大きく高めることができた。 • 市陸上記録会（出場27チーム4×100mリレー男子第1位・女子第4位に入賞）や校内持久走記録会（石岡トレイルランクラブの協力によりICチップによる記録計測）、石岡つくばねマラソン大会等への参加とその練習など、年間を通して事業との関連を図った体育的行事を実施した。 |
| 8 主な課題等 | <ul style="list-style-type: none"> • オリンピアン講師の人選は幅広く、また実施校の実態やねらいにそったものであるべきと考える。 |
| 9 来年度以降の実施予定 | <ul style="list-style-type: none"> • 平成30年度も事業の指定を希望するが、指定を受けなくてもメダリストを招聘するなど同様の教育活動を展開していく。 |